

- 問1 長野県では夏から秋にかけて、標高の高い地域の冷涼な気候を活かしたレタスなどの栽培が盛んです。収穫されたレタスを、鮮度を保ったまま東京などの大都市圏へ届けるために工夫されている流通の仕組みとして、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
1. 冬まで雪の中で貯蔵し、市場の品不足に合わせて出荷時期を遅らせる仕組み
 2. 収穫後すぐに乾燥加工を施し、常温のトラックで大量に輸送する仕組み
 3. 保冷車を用い、収穫したその日のうちに都市部の市場へ届ける仕組み
 4. 二酸化炭素の排出を抑えるため、すべて鉄道コンテナを利用して翌々日に届ける仕組み
- 問2 福井県などの日本海側の地域において、織物や眼鏡のフレームづくりといった精密な手作業を伴う地場産業が発達した歴史的な背景として、気候条件と関連させて説明しているものを選んでください。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
1. 年間を通じて降水量が少なく乾燥しているため、水を使わない工業が副業として定着した。
 2. 冬の季節風による積雪で農作業ができない期間の副業として、屋内での手仕事が奨励された。
 3. 冬でも温暖な気候を活かして二毛作が行われ、その余剰生産物を加工する副業が発達した。
 4. 夏に吹く南東の季節風がフェーン現象を引き起こし、農作物が育たないため工業に転換した。
- 問3 長野県に隣接する県の地理的な特徴について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2016年 山形県公立入試 類似)
1. 隣接する県のうち、関東地方に属する県はすべて政令指定都市を県庁所在地としている。
 2. 隣接する8つの県のうち、関東地方に属しているのは群馬県と埼玉県である。
 3. 隣接する8つの県のうち、関東地方に属しているのは山梨県と神奈川県である。
 4. 長野県は海に面していないため、隣接する県もすべて内陸県である。
- 問4 四日市市の石油化学コンビナートが、生産効率を高めるために採用している仕組みの説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
1. 電力消費を抑えるため、昼間は発電を行い、夜間に集中して機械を稼働させる。
 2. 全国各地から部品をトラックで集積し、一つの大規模な工場で最終製品を組み立てる。
 3. 原油を精製する工場と、その派生品を加工する工場をパイプラインでつなぎ、連続して生産を行う。
 4. 原料の輸送コストを削減するため、すべての製造工程を内陸部の原料産地の近くで行う。
- 問5 日本アルプスを構成する3つの山脈のうち、長野県の北西部に位置し、岐阜県や富山県との県境にもなっている山脈の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
1. 赤石山脈と呼ばれ、南アルプスという通称で知られる、静岡県との県境に位置する山脈である。
 2. 奥羽山脈と呼ばれ、東北地方の中央部を南北に貫く、日本で最も長い山脈である。
 3. 飛騨山脈と呼ばれ、北アルプスという通称で知られる標高3000m級の山々が連なる山域である。
 4. 木曽山脈と呼ばれ、中央アルプスという通称で知られる、飛騨山脈の南側に並行する山脈である。
- 問6 中部地方の石川県、山梨県、岐阜県、愛知県の4県における農業生産額の統計を比較すると、ある県では果実の生産額が他の3県に比べて突出して多く、農業生産額全体の約半分を占めています。この県と、その県で収穫量が全国トップクラスである果実の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2025年 兵庫県公立入試 類似)
1. 山梨県とぶどう
 2. 愛知県とレタス
 3. 山梨県とレタス
 4. 愛知県とぶどう
- 問7 北陸新幹線の開業にともない、東京駅から富山駅までの所要時間は3時間14分から2時間8分へ、金沢駅までは3時間51分から2時間28分へとそれぞれ大幅に短縮されました。このような高速交通網の整備が地域にもたらす直接的な変化として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
1. 移動にかかる運賃が大幅に引き下げられたため、通勤・通学客が中心となった。
 2. 大都市圏からのアクセスが向上したことで、利便性が高まり観光客が増加した。
 3. 鉄道利用者が減少し、その代わりに航空機を利用する観光客が急増した。
 4. 所要時間の短縮によって、地方から都市部への人口流入が完全に解消された。
- 問8 日本の気候区分において、日本海側の地域に位置する新潟市などは、一月や十二月といった冬季の月降水量が二百ミリメートルを超えることがあり、太平洋側の都市と比較して非常に多いという特色があります。このような気候が形成される背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. 冬に北西から吹く湿った季節風が、日本の中心部にある山脈にぶつかって上昇するため
 2. 夏に南東から吹く湿った季節風が、高い山々を越えて日本海側に吹き降りるため
 3. 一年を通じて暖流の影響を強く受け、冬でも日本海上で低気圧が発達しやすいため
 4. 冬に太平洋側から吹く乾燥した季節風が、日本海を渡る際に上昇気流を発生させるため
- 問9 山梨県において、ブドウをはじめとする果樹栽培が盛んな理由の一つに、甲府盆地周辺の特殊な地形が挙げられます。山地から流れてきた川が平地に出る場所に土砂が堆積して形成された、果樹栽培に適した水はけの良い地形を何といいますか。 (2020年 愛媛県公立入試 類似)
1. カルスト地形
 2. 干拓地
 3. 三角州
 4. 扇状地
- 問10 日本アルプスを構成する3つの山脈について、北から順に正しく並んでいる組み合わせはどれですか。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
1. 赤石山脈・木曽山脈・飛騨山脈
 2. 飛騨山脈・赤石山脈・木曽山脈
 3. 飛騨山脈・木曽山脈・赤石山脈
 4. 木曽山脈・飛騨山脈・赤石山脈
- 問11 東海地方の臨海部などで特に発展している輸送用機械の製造において、製品を海外へ輸出する手段として、航空輸送ではなく「海上輸送」が主に選ばれる理由について、製品の特徴に触れて説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
1. 製品が軽量であり、内陸部の工場から港までの陸上輸送コストが安く済むから
 2. 製品が非常に小型で高付加価値なため、輸送中の破損リスクが低い大型船が適しているから
 3. 製品が重量物であり、一度に大量の輸出を行う必要があるため、積載能力の高い船舶が適しているから
 4. 製品の鮮度を維持する必要がある、温度管理設備が整った海上コンテナでの輸送が必須だから
- 問12 中部地方の福井県に位置する若狭湾や、石川県の能登半島の一部では、山地の谷に海水が入り込むことで、小さな岬と湾が連続する複雑に入り組んだ海岸線が見られます。このような海岸地形の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2022年 山口県公立入試 類似)
1. 三角州
 2. 砂州
 3. 海岸平野
 4. リアス海岸
- 問13 福井県鯖江市の眼鏡枠製造のように、特定の地域で伝統的な技術や労働力を生かし、地域の経済を支えている産業を総称して何と呼びますか。最も適切な用語を選びなさい。 (2021年 三重県公立入試 類似)
1. 先端技術産業
 2. 加工貿易
 3. 地場産業
 4. 重化学工業

答え合わせ・解説

問1	答え 3 保冷車を用い、収穫したその日のうちに都市部の市場へ届ける仕組み	レタスは非常に鮮度が落ちやすい野菜であるため、長野県の生産地では保冷車（冷蔵トラック）が普及したことで、遠方の大都市圏へも品質を維持したまま届けることが可能になりました。特に高冷地の涼しい気候を利用して作られる「夏秋（かしゅう）野菜」は、消費地に近い平地での生産が困難な時期に出荷されるため、迅速な配送システムが重要な役割を果たしています。
問2	答え 2 冬の季節風による積雪で農作業ができない期間の副業として、屋内での手仕事奨励された。	北陸地方の伝統的な産業の背景には、厳しい冬の自然環境があります。シベリアからの北西の季節風がもたらす大量の雪は、冬の間の屋外活動、特に農作業を不可能にしました。この「雪に閉ざされる期間」を有効に活用するために、農家の副業として家族で行う手工業が発達しました。こうした歴史的背景が、現代における高度な技術を要する地場産業（鯖江市の眼鏡フレームや越前和紙など）へとつながっています。
問3	答え 2 隣接する8つの県のうち、関東地方に属しているのは群馬県と埼玉県である。	長野県は東側で関東地方の群馬県および埼玉県と隣接しています。山梨県は長野県の南東に位置し、隣接していますが、地方区分では中部地方に含まれます。また、長野県に隣接する県のうち、新潟県や静岡県、愛知県などは海に面しているため、すべてが内陸県というわけではありません。群馬県の県庁所在地である前橋市は政令指定都市ではないため、すべての選択肢の中で正しいのは地方区分に基づいた記述のみとなります。
問4	答え 3 原油を精製する工場と、その派生品を加工する工場をパイプラインでつなぎ、連続して生産を行う。	コンビナートという仕組みは、原料の受け入れから中間製品の製造、さらにそれを加工する二次製品の製造までを地理的に集約し、各工場をパイプラインで結ぶことで、輸送コストの削減と生産の高速化を実現しています。四日市市はこの仕組みによって、自動車産業などに不可欠なプラスチックやゴム材料を大量供給しています。
問5	答え 3 飛騨山脈と呼ばれ、北アルプスという通称で知られる標高3000m級の山々が連なる山域である。	長野県の地形資料において、北西部に位置する険しい山地は飛騨山脈に該当します。この山脈は日本アルプスの北部に位置することから北アルプスと呼ばれ、槍ヶ岳や奥穂高岳などの高山が連なっています。これに対して木曽山脈は中央アルプス、赤石山脈は南アルプスと呼ばれます。
問6	答え 1 山梨県とぶどう	山梨県は甲府盆地を中心に、水はけのよい扇状地を利用した果樹栽培が非常に盛んです。農業生産額の統計では、米や野菜よりも果実の割合が極めて高いのが特徴で、特にぶどう、もも、すももの収穫量は日本一を誇ります。愛知県はキャベツなどの野菜や花の生産額が多いことで知られており、果実が突出しているわけではありません。
問7	答え 2 大都市圏からのアクセスが向上したことで、利便性が高まり観光客が増加した。	新幹線の開業による最大のメリットは、高速走行によって目的地までの所要時間が大幅に短縮されることです。特に首都圏などの大都市圏からの移動が容易になることで、これまで時間的な制約で訪問を控えていた層が観光に訪れるようになり、観光客の増加や地域経済の活性化が期待されます。一方で、便利になったことで宿泊せずに帰ってしまう「日帰り化」や、地域の購買力が大都市に流れる「ストロー現象」といった課題も存在します。
問8	答え 1 冬に北西から吹く湿った季節風が、日本の中心部にある山脈にぶつかって上昇するため	冬になると、ユーラシア大陸から日本海に向かって冷たく湿った北西の季節風が吹きます。この風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、日本の背骨にあたる高い山脈にぶつかって上昇することで、日本海側に大量の雪や雨をもたらします。一方、山を越えた後の風は乾燥するため、太平洋側では晴天の日が多くなります。
問9	答え 4 扇状地	山地から平地へと川が流れ出す谷口付近には、砂や礫が堆積して扇の形をした「扇状地」が形成されます。扇状地は土の粒が大きく水が地下に浸透しやすいため、水持ちの良さが必要な稲作には不向きですが、水はけの良さが求められる果樹栽培には非常に適しており、山梨県ではこの地形を有効に活用しています。
問10	答え 3 飛騨山脈 ・ 木曽山脈 ・ 赤石山脈	日本アルプスは、最も北側に位置する飛騨山脈（北アルプス）、その南に位置する木曽山脈（中央アルプス）、そして最も南側に位置する赤石山脈（南アルプス）の3つから成り立っています。これらはプレートの運動による圧力で地層が押し上げられたことで形成された、日本で最も標高の高い山岳地帯です。
問11	答え 3 製品が重量物であり、一度に大量の輸出を行う必要があるため、積載能力の高い船舶が適しているから	自動車などの輸送用機械は、製品一つひとつの重量が大きく、体積も占有するため、航空機での大量輸送には向きません。海上輸送は、航空輸送に比べて時間はかかりますが、重量のあるものを一度に大量に、かつ低コストで運ぶことができるため、日本の主力輸産産業である自動車産業を支える重要なインフラとなっています。
問12	答え 4 リアス海岸	起伏の激しい山地が沈水したり、海面が上昇したりすることで、かつての谷の部分に海水が入り込み、複雑な海岸線が形成されました。中部地方では若狭湾がその代表例として知られています。
問13	答え 3 地場産業	特定の地域に根ざし、地域の原材料や技術、労働力を活用して発展した産業を地場産業と呼びます。鯖江市の眼鏡や、燕三条（新潟県）の金属洋食器などがその代表例です。これらは単なる製造業ではなく、地域の文化や歴史と深く結びついており、現在はデザイン性の向上やブランド化による差別化が進められています。